

浦添市てだこ市民大学雑記帳 第25号

2018年2月発行

春寒の候、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

これまで多くの皆様に支えられ、「てだこ市民大学」は今年で10年目を迎えることができました。送り出した卒業生は235名に上り、多くの方々が各分野、各地域で活動が続いています。

平成30年度は「てだこ市民大学」にとって新たなチャレンジの年でもあり、市民協働によるまちづくりのさらなる発展を目指して取り組んでまいります。

そして、市民大学での学生生活が充実したものとなるよう事務局一同精一杯サポートしてまいりますので、引き続きご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

今回の雑記帳第25号では1～3月のイベントのご報告・ご案内と卒業生へのインタビューを掲載いたします。



卒業研究発表会を開催します

浦添市てだこ市民大学2年間で学んだ成果を発表します。学生それぞれの個性あふれる発表を聞いてみませんか！

- 日時：2月24日(土) 14:30～16:30
- 場所：浦添市中央公民館3階 大ホール

卒業研究のテーマ

- ・コミュニティビジネス・地域振興学部
 - ◎「てだこ市民大学」顧客を増やそう！
- ・健康福祉・スポーツ振興学部
 - ◎地域の活性化とリーダー排出・育成は、エキサイティングスポーツのゲートボール競技で！
 - ◎ビューティータッチセラピーで介護予防・認知症予防・健康寿命の延長
 - ◎地域自治会加入率向上と地域福祉
 - ◎よりよく生きるために死について考える
～エンディングノートの作成から～
- ・文化振興教養学部
 - ◎前田高地の戦況から平和を考える



もうすぐ卒業式！

2年間の学びが修了します。めでたく卒業される皆さんにさらなる活躍への期待を込めて激励を！どなたでもご参加いただけますので、お気軽にお越しください！！

- 日時：3月10日(土) 15:00～16:00
- 場所：浦添市中央公民館3階 大ホール

※式典終了後、懇親会あり(実行委員会主催：会費1,000円)



卒業生インタビュー Vol.8

このコーナーでは毎号卒業生にインタビューを行い、てだこ市民大学での学びが卒業後の活動やまちづくりにどのように生かされているのかをお伝えしていきます！

第8回目は、毎週土曜日のお昼に宮城っ子児童センターで「子どもカフェ」を運営している皆さんです。



子どもカフェ

共同での調理を通しての食育活動や子どもたちにとって安心して過ごせる「居場所づくり」と生活習慣が身につく支援、宿題サポートなどの学習支援など様々な活動を行っています。

左より新川 律子さん(第1期)、川満 裕子さん(第1・8期)、赤嶺 香さん(第2期)、手登根仁美さん(第1期)

1. 市民大学への入学動機は？

地域で自分のできることを活かせるスキルを学ぶきっかけをつくりたいと思ったからです。

2. てだこ市民大学での学びは活動に活かされていますか？

学校・地域でボランティアとして活動することで子どもとの関わり方やボランティアと一緒に活動する仲間とのコミュニケーション能力が生かされていると感じます。

3. 今後、どのように活動を進めたいですか？

少しでも多くの卒業生が、地域で活動できる場所があったらいいですね。きっかけができたから活動していますが、初めの一歩は勇気がいります。活動することでたくさんのエネルギーを子どもたちや周りの方々からもらえますよ！

4. てだこ市民大学に望むことは？

- ・もう少し地域に出向いて市民大学の説明会を開く等の周知活動が必要だと思います。(自治会対象だと自治会に加入していない人は参加しづらいかも…)
- ・ホームページの活用の仕方をもう少し工夫したらいいのでは？

公開講座の様子

1月25日(木)市役所9階講堂で、移動絵本屋「絵本の専門店もりほんや」代表の森平太氏を講師にお招きし、公開講座「絵本の魅力を仕事に♪」を開催しました。



子育て世代も含め幅広い世代が参加しました



講師の森 平太氏

参加者の声

「自分自身のことをよく理解していて、困難にあった時の状態でもあきらめずに続けたことが成功に結びついた。」
「子育て中の身としては、『なるほど』と思うようなことが多い内容でした。特に読み聞かせにはもう少し力をいれようと思いました。」

～問い合わせ先～ 浦添市教育委員会 生涯学習振興課 浦添市てだこ市民大学事務局
電話098-876-1234(内線6064)
Mail:syogaku@city.urasoe.lg.jp 浦添市(HP):http://www.city.urasoe.lg.jp/

